

# 芝居の笛 ～笛の魅力・黒御簾の音～ 藤舎理生の多彩な技



歌舞伎の笛奏者は男性です。しかし黒御簾など蔭では女性の活躍はかせません。名人・藤舎名生(人間国宝)に入門から40年。横笛奏者、藤舎理生さんの生演奏で芝居の様々な音色を楽しみましょう。

令和5年 3月18日(土)

13:30～15:30(受付は13時開始)

可児市文化創造センター ala 映像シアター

【チケット】

令和5年1月21日(土) 9:00 発売

★電話予約は翌22日(日) 9:00 から

全席指定 1,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット取り扱い

可児市文化創造センター ala・インフォメーション

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139

(9時から19時まで / 火曜休)

◆ 電話予約・・・0574-60-3050

◆ インターネット予約 <https://kpac.or.jp>

【主催】(公財)可児市文化芸術振興財団 【協力】可児歌舞伎

【お問合せ】可児市文化創造センター 0574-60-3311



ゲスト

藤舎理生  
とうしゃりを



1983年藤舎推峰(現人間国宝 藤舎名生)に入門。篠笛・能管を師事。87年、名生師の内弟子となり、90年に理生の名を許される。邦楽囃子笛方として、古典邦楽を基盤にしつつ、現代曲、篠笛・能管曲の作曲、ソロコンサート、洋楽器とのコラボレーション等で、笛の持つ表現の可能性を追求。CD「天界一会」を2008年、CD「藤舎理生 笛の創作世界—未来への様相—」を19年に発表。リサイクル「藤舎理生 笛の世界」パート1(2019年)、「同」パート2(2022年)を第74回と第77回の文化庁芸術祭参加公演として開催。国内公演のほか、ニューヨーク、パリ、ウィーンなど、海外公演多数参加。

長唄三味線を稀音家六治(現 貴音抄太郎)に、荻江を二世荻江寿友に師事。稀音家麻里子、荻江寿生の名を持つ。一般社団法人長唄協会会員。囃子「真しほ会」「青澗会」「冨んじゆの會」同人。公益社団法人日本芸能実演家団体協議会キッズ伝統芸能体験主任講師。都立白鷗高校附属中学校長唄三味線部講師。「笛 理生の会」主宰。

講師

葛西聖司  
かさいせいじ



東京都生まれ。NHK アナウンサーとしてテレビ、ラジオのさまざまな番組を担当してきた。現在はその経験を生かし、歌舞伎など古典芸能の解説や講演、セミナーなどを全国で展開。著書多数。

国民文化祭2024に向け、地芝居大國ぎふ応援大使を務めている。早稲田大学公開講座、NHK文化センター、朝日カルチャーセンター講師、日本演劇協会会員(評論)。

【著書】

「僕らの歌舞伎」(淡交社)  
「文楽のツボ」(NHK出版)  
「名セリフの力」(展望社)  
「ことばの切っ先」(展望社)ほか  
「教養として学んでおきたい能狂言」  
「同 歌舞伎」(マイナビ新書)

本講座は新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、開催します



館内の空調システムは法令の基準を満たした十分な換気性能があり、常時換気を行っています。

- 館内では、マスクの着用をお願いします。
- 受付時に検温を行います。発熱があった場合、入場をお断りする場合がございます。
- 当日の混雑防止のため、チケットの事前発券にご協力ください。
- ご来場にあたり、アール感染症対策 WEB ページをご覧ください。

<https://www.kpac.or.jp/ala/page-facility/guidelines/> ⇒

